

議案番号	議案名	賛成しなかった議員
認定第1号	平成28年度津市一般会計歳入歳出決算	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、川口和雄
	<p>《反対討論 市民の声を大切にす会 長谷川 正議員》歳入については、市税の不納欠損の件数が多く、額も大き過ぎる。市営住宅課職員のノウハウや、仕事に対する心、意気込みを見習うなどして、もっと危機感を持って、真剣に収税すべきである。歳出については、全体的に、予算額と決算額とのかい離が大き過ぎであり、執行率が悪い。根本的に当初予算計上時の積算の甘さ、油断が原因であり、担当課職員の職務に対しての怠慢さが見受けられる。「ちりも積もれば山となる」ということで、ぜい肉をしっかりとそいで予算計上すべきであり、無駄なぜい肉をそいだ部分の予算で、今やっている事業に対して、もう少し肉付けをすることもできるし、新たな事業にも予算をつぎ込めるはずであると考えことから反対する。</p> <p>《反対討論 日本共産党津市議団 中川 民英議員》職員数2500人体制を基軸として、今後の職員管理も臨時職員、非正規職員の活用を進める内容であり、このことが職員の労働強化や市民サービスの低下につながっている。子育て支援が必要と言われている中、待機児童は100名を超えており、保育所を増やし、受け入れ体制を充実させるためにも、必要な保育士は正規の職員を増やす方向で進めるべきである。マイナンバー制度は、徴税強化や社会保障費抑制を狙った政府の動機から出発したものであり、各地で既に個人情報流出などさまざまなトラブルが発生している。土木費では、市民の皆さんから要望の多い生活道路の維持改善費等の事業件数から見ても要望に応えられるものになっていない。当事者の気持ちを無視した同和行政、同和教育が依然として続けられている。地方自治体には市民の暮らしに寄り添う温かく優しい姿勢が求められると同時に、国の悪政の防波堤になることも求められているが、この決算にはそうした点が見受けられないことなどから反対する。</p>	
認定第2号	平成28年度津市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正
	<p>《反対討論 市民の声を大切にす会 長谷川 正議員》この事業は、一般会計の台所を助けるために始めた事業である。平成28年度は、13年ぶりに一般会計に1億円を繰り入れている一方で、日本財団へは、約8億4000万円もの莫大なお金を支払っている。この先、何年かかっても、この交付金に対する改革をしなくてはならない。大変もったいない、無駄なお金であり、そのことを考えると、市民に申し訳なくて夜も眠れないことがある。何としても、全議員、執行部、市民が一丸となって、この悪しき事例を改革していくべきであると考えことから反対する。</p> <p>《反対討論 日本共産党津市議団 中川 民英議員》公営ギャンブルを行政が運営することは問題であり、日本財団等に交付金が8億円以上も支払われると同時に、毎年、競走用ボートなどについて、他者の参入が閉ざされた独占的な契約がなされ、特定の一族に資金が流れる仕組みになっていることから反対する。</p>	
認定第3号	平成28年度津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 川口和雄
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団 中川 民英議員》保険料を平均21%も値上げをした結果、約8億3000万円の黒字となり、予定していた一般会計からの繰り入れを行っていない。国民健康保険の加入者は、年金生活者や自営業者、非正規雇用者など比較的所得者が多く、津市の加入者状況は、所得が200万円以下の方が80%を占めている。また、滞納整理の名のもとに強権的な取り立てが行われているが、滞納者の生活実態をよく聞き、親身に対応する相談、収納活動に転換すべきである。減免制度を充実し、全ての加入者が安心して医療にかかれるようにすべきとの立場から反対する。</p>	
認定第4号	平成28年度津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団 中川 民英議員》わずかな年金から容赦なく保険料が天引きされる一方で、介護が必要になっても利用料が払えず、介護保険を利用できない人が増えているなど、「保険あって介護なし」の状態である。保険料については、低所得者のための所得段階をさらに設定することや、利用料の減免制度を充実させることが求められており、必要な人が必要な介護を受けられることを求める立場から反対する。</p>	